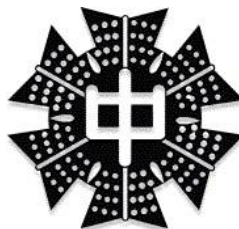


檜中だより



令和6年度 第1号
令和6年 4月9日発行
檜原学園檜原中学校

一人一人が自分の花を咲かせられる学校

校長 中村 祐子

令和6年度が始まりました。昨年度、檜原中学校校長として赴任し、保護者・地域の皆様に支えられて充実した日々を過ごすことができましたこと、感謝申し上げます。

今年度の学校経営方針における《ビジョン》は下記のようになります。

《一人一人が自分の花を咲かせられる学校 ウェルビーイング檜中》

- 生徒も教師も高め合える学校 ～檜中で学べて良かった・檜中で働けて良かった～
- 保護者・地域から愛される学校 ～檜中に通わせて良かった・檜中があった～

学校・家庭・地域が共に手を取り合って取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様や地域の方々の更なるご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本日、7名の新入生を迎えました。1年生のみなさん、入学おめでとうございます。そして、2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。今年度の生徒数は2年生が10名、3年生が6名、全員で23名となります。生徒会主催のフラワー活動で球根を植え、水やりをしてきたチューリップが花開く様子は、みなさんの新年度のスタートを祝ってくれているかのようです。

歴史ある檜原中学校で出会った『縁』を大事にしていきましょう。また、先輩方から受け継いだ伝統を大事にしながら、それぞれの『強み』を生かしてさらに発展させていきましょう。新しい年度が始まり、生徒の皆さん一人一人が気持ちを新たに「さあ！頑張ろう！」と思っていることと思えます。その思いが実現できるように、檜原中に関わる全ての人々が生徒の皆さんをサポートしていきます。それぞれがもっている可能性の花を咲かせていきましょう。

校長室のドアはいつも開けています。今年度も生徒の皆さん一人一人と、『おはようございます』『さようなら』と笑顔と共に声を掛け合えることを楽しみにしています。

最後に私の好きな一首（百人一首より）を紹介します。

第33番

久方の光のどけき春の日に
しづ心なく花の散るらむ

紀友則

〈現代語訳〉

光ののどかな春の日に、桜の花はどうしてこんなにも落ち着いた心もなく散ってってしまうのだろう。

